

令和2年度 事業計画

I 文化情報提供事業[6, 115千円]

情報誌を発行するほかインターネットにより県民に対して文化情報を提供する。

1 情報提供事業 [4, 629千円]

事業名	事業概要
【指定管理業務】 (1) 情報誌発行事業 (4, 292)	県内を中心とした文化事業等を幅広いジャンルで紹介し県民の文化活動の一助とする。また、県民に県内の文化情報を提供する。 情報誌「季刊ブンカ」 A4版 20ページ 年4回発行 各5,500部発行
【指定管理業務】 (2) インターネット情報発信事業 (337)	インターネット人口が増加し、ウェブサイトによる情報発信が有力な広報手段となっていることから、ウェブサイトによる情報の発信を強化する。

2 普及広報事業 [1, 486千円]

事業名	事業概要
【指定管理業務】 (1) インフォメーションセンター 整備事業 (604)	・来館者が自由に視聴できるよう月刊専門誌、CD、DVDを整備する。
【指定管理業務】 (2) 貸館促進広報事業 (882)	「ハーモニーホールふくい」の施設の情報を提供し、利用の促進を図る。 ・利用者との意見交換会を開催する。 ・利用者を対象とした「スプリングフェスティバル」を開催する。

II 文化活動促進事業[37,747千円]

県民自ら行う文化活動への支援のほか、子どもたちの音楽鑑賞や福井県にゆかりの深い楽器教室などを開催することで本県音楽文化の振興に資する。

1 活動支援事業 [3,350千円]

事業名	事業概要
(1)文化活動後援	地域の文化振興を目的として、文化活動に対して後援を行う。
(2)ふくい文化友の会 (3,350)	<ul style="list-style-type: none"> ・ふくい文化友の会の運営 ・「地域文化研修」の実施 文化財、芸術作品等の見学、鑑賞 対象…ふくい文化友の会会員、特別協賛会員

2 教育普及事業 [33,927千円]

事業名	事業概要
【指定管理業務】 (1)セミナー等実施事業 (4,577)	本県にゆかりの深い楽器であるハープ、マリンバと弦楽器に親しむきっかけづくりとなる「ふれあい教室」、弦楽器奏者を育成する「弦楽器教室」、パイプオルガンの活用を促進するためのスクールを実施し、本県の音楽文化振興を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ふれあい教室 対象楽器 アイリッシュハープ、マリンバ、ヴァイオリン、チェロの4部門 対象者 5才から中学生 ・ 初級コース 対象楽器 ハープとマリンバを隔年実施 (令和2年度はハープ) 対象者 原則、高校生以上 ・ オルガンスクール (パイプオルガン) パイプオルガンの活用を促進するため、音楽を学ぶ若者がパイプオルガンに触れる機会を提供したり、県内オルガニストの演奏スキルアップを図る。

<p>【指定管理業務】 (2)パイプオルガン普及啓発事業 (1, 434)</p> <p>【県受託事業】 (3)ふるさと子どもコンサート (659)</p> <p>【県受託事業】 (4)ふれあい文化子どもスクール オーケストラとのふれあい コンサート開催事業 (14, 678)</p> <p>【県受託事業】 (5)未来の音楽人材育成事業 (4, 787)</p> <p>【県受託事業】 (6)出張音楽堂開催事業 (7, 792)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 福井ジュニア弦楽アンサンブル・セミナー オーケストラやアンサンブルの弦楽器奏者の拡充を目指す弦楽器教室を実施 (初級コース、中級コース) 対象楽器 ヴァイオリン、チェロ、ヴィオラ 対象者 (初級コース) ふれあい教室修了、県の芸術教育推進事業実施校児童等 (中級コース) 小学3年生程度から大学生まで一定レベル以上の技量を有する者 <p>パイプオルガンを使用して、県民の音楽文化レベルの向上、オルガンの普及啓発を図る。 オルガン作品の鑑賞を中心に据えつつ、オルガン見学やクラシック音楽の鑑賞マナー入門や音楽を使った身体表現等、幅広い内容で実施</p> <p>開催回数 年間3公演</p> <p>子どもが楽しめる楽曲による音楽公演、パイプオルガン演奏、楽器体験、パイプオルガン探検ツアー等を開催する</p> <p>開催回数 年間5公演 (うち1回は嶺南開催)</p> <p>県内の小学5年生(約8,000人)全員を対象に、県立音楽堂でオーケストラと直接ふれあい、子どもが楽しめる参加体験型コンサートを開催する。</p> <p>開催回数 年間7公演</p> <p>音楽教育支援コーディネーターにより、音楽活動のレベルを高めたい高校生等に学びの場を提供し、プロの音楽講師による若手人材の育成を図る。</p> <p>豊かな創造性・人間性を育てるため、県内の中学校等へ演奏家を派遣し、小中学生が優れた芸術を鑑賞する機会を拡大する。 年30回程度開催 中学生：H30～R2年度ですべての中学校、特別支援学校へ演奏家を派遣</p>
--	---

3 人材育成事業〔470千円〕

事業名	事業概要
【指定管理業務】 (1) ボランティア（ホールホーター）設置 (288)	県立音楽堂に対する関心と愛着を高めるとともに、館のPRや業務の支援をしてもらうボランティアの運営 ・登録人員 30名程度
【指定管理業務】 (2) レセプションист設置 (182)	来館者に快適かつ安全にコンサートを楽しんでもらうため、座席案内や緊急時の避難誘導などを行う専門的な接客研修を受けたレセプションистの運営 ・登録人員 50名程度

Ⅲ 公演事業〔160,647千円〕

文化や音楽に関する県民の理解を高めることを目的に、文化公演、音楽公演等を開催する。

1 音楽公演事業〔160,647千円〕

事業名	事業概要
【指定管理業務】 自主公演事業 (160,647)	県民に愛されるホールとして「開かれた音楽堂」実現のため、具体的に項目立てた目標に則り、音楽を中心とした芸術文化振興の先導的かつ中心的な役割を果たすため、優れた音楽公演事業をはじめとする各種自主事業を積極的に実施する。 なお、事業は、次の4つのジャンルに区分し、概ね月に2公演程度の割合で開催する。 ①特別鑑賞型(国際的に評価の高い海外のオーケストラなどによる極めて質の高い公演) ②鑑賞型(国内外のオーケストラを始め優れたソロや室内楽、邦楽などの質の高い公演) ③参加創造型(本県出身および在住アーティストや地域との連携による創造性の高い公演) ④普及啓発型(音楽堂になじみがないと感じている県民を招き入れる公演)

	<p>2020年は楽聖ベートーヴェンの生誕250年の記念の年で全国的にアニヴァーサリー企画が開催される。ハーモニーホールふくいにおいても『ベートーヴェン生誕250周年記念シリーズ』として、ドイツ、スイスから招くオーケストラ、ソリスト、室内楽、そして越のルビーアーティストによる公演など6公演を実施する。</p> <p>大ホールステージのオーケストラ迫りを客席に見立てて、0歳児から楽しめる事業として毎年開催してきた『ステージできく』コンサート。平成31年度一般対象公演にも拡充して実施したところ好評だったことを受け、令和2年度には4公演を同様のスタイルで実施することにした(乳幼児対象1公演、一般対象3公演)。アーティストの息づかいまで間近に感じられるステージ席、大ホールの豊かな空間に広がるサウンドを感じられる2階席の両方を楽しむことができる。</p>
--	---

IV 地域文化発掘継承事業[1, 104千円]

ふるさと福井の文化を継承し、これを支えて努力している人や地域社会の中で個性豊かな生活文化の創造と普及のため地道な活動を続けている人を顕彰する。

1 顕彰事業 [1, 104千円]

事業名	事業概要
野の花文化賞 (1, 104) (隔年実施)	・第24回 野の花文化賞